

連結及び単体業績概要

(平成22年3月期 第2四半期)

1. 連結第2四半期業績の概要

【単位:百万円、(%)】

項目	平成22年3月期 第2四半期	平成21年3月期 第2四半期	対前期比較	通期(22/3期) 予想
売上高	6,439 (100.0)	7,124 (100.0)	△ 685 (△ 9.6)	14,970
アニメーション事業	4,525 (70.3)	5,063 (71.1)	△ 538 (△ 10.6)	11,150
アミューズメント事業	1,913 (29.7)	2,061 (28.9)	△ 147 (△ 7.2)	3,820
営業利益	△ 22 (△ 0.3)	198 (2.8)	△ 220 (—)	310
経常利益	20 (0.3)	239 (3.4)	△ 219 (△ 91.4)	380
当期純利益	△ 69 (△ 1.1)	38 (0.5)	△ 108 (—)	30
1株当たり四半期 (当期)純利益	△1円70銭	0円92銭	△2円62銭	0円73銭

- 当第2四半期末 連結子会社数 6社 持分法適用会社 1社
- 期中における連結範囲及び持分法の適用の異動
連結 (新規) 0社 (除外) 0社 持分法 (新規) 0社 (除外) 0社

2. 単体第2四半期業績の概要

【単位:百万円、(%)】

項目	平成22年3月期 第2四半期	平成21年3月期 第2四半期	対前期比較	通期(22/3期) 予想
売上高	4,372 (100.0)	6,724 (100.0)	△ 2,351 (△ 35.0)	10,640
アニメーション部門	4,372 (100.0)	4,662 (69.3)	△ 290 (△ 6.2)	10,640
アミューズメント部門	— (—)	2,061 (30.7)	△ 2,061 (—)	—
営業利益	△ 46 (△ 1.1)	122 (1.8)	△ 169 (—)	170
経常利益	54 (1.2)	184 (2.7)	△ 130 (△ 70.7)	360
当期純利益	23 (0.5)	174 (2.6)	△ 151 (△ 86.5)	160
1株当たり四半期 (当期)純利益	0円58銭	4円15銭	△3円57銭	3円92銭

- (注) 1. 百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 対前期比較の()内は、比較増減率を記載しております。

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月28日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 トムス・エンタテインメント

コード番号 3585 URL <http://www.tms-e.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡村 秀樹

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 岡山 仁

TEL 03-5325-9111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	6,439	△9.6	△22	—	20	△91.4	△69	—
21年3月期第2四半期	7,124	—	198	—	239	—	38	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△1.70	—
21年3月期第2四半期	0.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	17,117	14,069	81.7	349.68
21年3月期	17,864	14,580	81.2	355.04

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 13,992百万円 21年3月期 14,506百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	7.50	7.50
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,970	5.6	310	6.2	380	35.9	30	△55.9	0.73

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 44,153,101株 21年3月期 44,153,101株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 4,136,382株 21年3月期 3,294,992株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 40,716,636株 21年3月期第2四半期 42,135,717株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱が实体经济への影響を深刻化させるなか企業業績の低迷が続き、設備投資の減速や雇用不安の拡大など見通しが不安定な状態が続いております。また個人消費についても、先行きへの不透明感から生活防衛意識が高まり消費は落ち込みました。

このような経済環境のもとで、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は64億3千9百万円（前年同期比9.6%減）、営業損失は2千2百万円（前年同期は営業利益1億9千8百万円）、経常利益は2千万円（前年同期比91.4%減）、四半期純損失は6千9百万円（前年同期は四半期純利益3千8百万円）となりました。

売上高では、アニメーション事業においては、主に制作収入が前年同期を下回りました。アミューズメント事業においては、業界全体の低迷に加え新型インフルエンザ発生による外出控えなどの要因も重なり、前年同期を下回りました。以上の結果、全社合計では前年同期を下回る結果となりました。

利益面では、アニメーション事業においては、広告宣伝費の大幅な節減にもかかわらず売上高の落ち込みの影響を受け、事業全体では営業利益、経常利益ともに前年同期を下回りました。アミューズメント事業においては、リース料などのコスト削減の効果が利益を押し上げ、営業利益、経常利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果、全社合計では営業利益、経常利益ともに大幅な減益となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(1) アニメーション事業

アニメーション事業においては、制作収入は遊技機向け素材制作の増加があったもののTVシリーズおよび劇場映画本数の減少により、制作収入全体は20億6百万円と前年同期比19.3%の減収となりました。

一方、ロイヤリティなどの販売収入は、前期に引き続きTVシリーズ「爆丸」が北米において好調を維持し、また劇場映画シリーズ第13作目の「名探偵コナン 漆黒の追跡者」が前年同シリーズを大幅に上回る興行成績でありましたが、国内番組販売、ビデオグラム販売、商品化権販売等の落ち込みにより、販売収入全体では25億1千8百万円、前年同期比2.3%の減収となりました。

この結果、アニメーション事業全体の売上高は45億2千5百万円（前年同期比10.6%減）、営業利益は2億6千1百万円（前年同期比50.2%減）となりました。

(2) アミューズメント事業

アミューズメント事業においては、当第2四半期連結累計期間に2店舗（AGスクエア四日市店、習志野店）を閉店し、当第2四半期末現在の店舗数は23店舗となりました。アミューズメント業界全体が低迷する中、個々の店舗の収益性に重点をおいて店舗競争力を強化し集客維持に努めました。

この結果、アミューズメント事業の売上高は19億1千3百万円（前年同期比7.2%減）、営業利益は3千5百万円（前年同期比59.1%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は171億1千7百万円（前連結会計年度比7億4千6百万円の減少）となりました。主な要因は、現金及び預金の増加5億3千7百万円や有価証券の増加1億9千3百万円などがあったものの、受取手形及び売掛金の減少9億9千万円、商品

及び製品の減少2億4千3百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は30億4千8百万円（前連結会計年度比2億3千6百万円の減少）となりました。主な減少の要因は、支払手形及び買掛金の減少3億7千万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は140億6千9百万円（前連結会計年度比5億1千万円の減少）となりました。主な減少の要因は、配当金の支払い3億6百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきまして現段階で入手可能な資料に基づき第3四半期以降の業績を検討した結果、現段階では平成21年4月30日に公表しました通期業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の定率法を採用している資産につきましては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 繰延税金資産の回収可能性

繰延税金資産の回収可能性につきましては、当第2四半期連結累計期間における主な税務上の加減算項目を考慮し、前連結会計期間末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,395,709	2,857,725
受取手形及び売掛金	1,261,768	2,252,227
有価証券	1,893,417	1,699,960
商品及び製品	1,152,513	1,396,439
仕掛品	1,061,487	1,030,047
原材料及び貯蔵品	51,331	51,633
その他	452,170	660,111
貸倒引当金	△7,738	△14,130
流動資産合計	9,260,660	9,934,014
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,732,540	1,776,469
その他(純額)	1,794,787	1,909,165
有形固定資産合計	3,527,327	3,685,634
無形固定資産		
投資その他の資産	238,525	215,063
その他	4,175,217	4,115,374
貸倒引当金	△84,256	△85,747
投資その他の資産合計	4,090,960	4,029,626
固定資産合計	7,856,814	7,930,325
資産合計	17,117,474	17,864,340
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,287,447	1,657,639
未払法人税等	40,163	18,844
未払消費税等	37,541	—
役員賞与引当金	6,684	18,924
賞与引当金	98,169	79,421
その他	882,353	748,061
流動負債合計	2,352,358	2,522,891
固定負債		
退職給付引当金	389,589	380,502
役員退職慰労引当金	97,887	88,676
その他	208,289	292,227
固定負債合計	695,766	761,406
負債合計	3,048,125	3,284,297

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,816,866	8,816,866
資本剰余金	1,806,323	1,806,323
利益剰余金	4,773,083	5,148,923
自己株式	△1,476,516	△1,275,700
株主資本合計	13,919,756	14,496,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	74,511	11,131
為替換算調整勘定	△1,381	△1,335
評価・換算差額等合計	73,130	9,795
新株予約権	76,462	73,834
純資産合計	14,069,349	14,580,042
負債純資産合計	17,117,474	17,864,340

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	7,124,756	6,439,032
売上原価	5,989,666	5,618,213
売上総利益	1,135,090	820,818
販売費及び一般管理費	936,369	842,947
営業利益又は営業損失(△)	198,721	△22,128
営業外収益		
受取利息	17,196	31,255
受取配当金	—	31,135
為替差益	9,471	—
その他	29,153	19,782
営業外収益合計	55,822	82,174
営業外費用		
長期前払費用償却	6,519	6,097
為替差損	—	28,604
清算子会社の管理費用	5,759	—
その他	2,572	4,696
営業外費用合計	14,851	39,398
経常利益又は経常損失(△)	239,692	20,646
特別利益		
固定資産売却益	708	1,496
貸倒引当金戻入額	2,776	9,707
その他	—	1,512
特別利益合計	3,485	12,716
特別損失		
固定資産除却損	33,869	2,904
建物賃貸借契約解除に伴う損失	—	97,696
子会社清算損	142,613	—
その他	15,364	3,050
特別損失合計	191,846	103,651
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	51,330	△70,288
法人税、住民税及び事業税	38,725	24,772
過年度法人税等	—	16,010
法人税等調整額	△26,370	△41,667
法人税等合計	12,355	△884
四半期純利益又は四半期純損失(△)	38,975	△69,403

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	アニメーション 事業 (千円)	アミューズメント 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に 対する売上高	5,063,623	2,061,133	7,124,756	—	7,124,756
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	5,063,623	2,061,133	7,124,756	(—)	7,124,756
営業利益	526,107	22,136	548,243	(349,522)	198,721

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	アニメーション 事業 (千円)	アミューズメント 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に 対する売上高	4,525,490	1,913,541	6,439,032	—	6,439,032
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	4,525,490	1,913,541	6,439,032	(—)	6,439,032
営業利益又は 営業損失(△)	261,971	35,229	297,201	(319,330)	△22,128

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2 各事業の主な内容

- (1) アニメーション事業……………アニメーション作品の企画・制作・販売・配給および輸出
- (2) アミューズメント事業……………アミューズメント施設の企画・開発・運営

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	北アメリカ	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	85,502	164,721	231,174	38,871	520,270
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	7,124,756
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	1.2	2.3	3.2	0.6	7.3

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっている。
 2 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北アメリカ……………アメリカ合衆国・カナダ
 (2) アジア……………韓国・台湾・タイ・マレーシア
 (3) ヨーロッパ……………イタリア・フランス・スペイン・ドイツ
 (4) その他の地域……………中南米・ロシア他

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	北アメリカ	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	424,459	143,858	72,696	46,034	687,048
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	6,439,032
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	6.6	2.2	1.1	0.8	10.7

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっている。
 2 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北アメリカ……………アメリカ合衆国・カナダ
 (2) アジア……………台湾・インドネシア・韓国・タイ
 (3) ヨーロッパ……………イタリア・スペイン・フィンランド・フランス
 (4) その他の地域……………中南米・中東他

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 表示方法の変更

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

（四半期連結損益計算書）

前第2四半期連結累計期間に営業外収益の「その他」に含めて表示していた受取配当金は、当第2四半期連結累計期間において営業外収益の100分の20を超えることとなったため「受取配当金」として区分掲記いたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれている受取配当金の金額は、11,004千円であります。